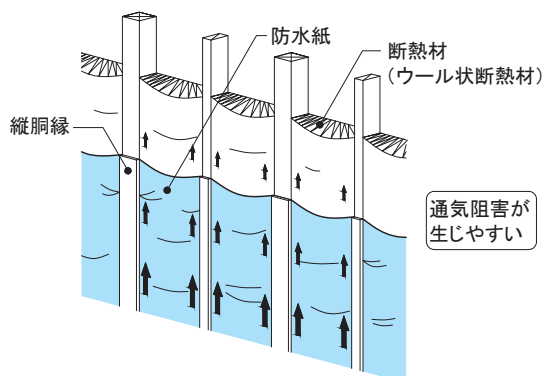


1 センターサイディング標準施工法

1-13 防水紙張り

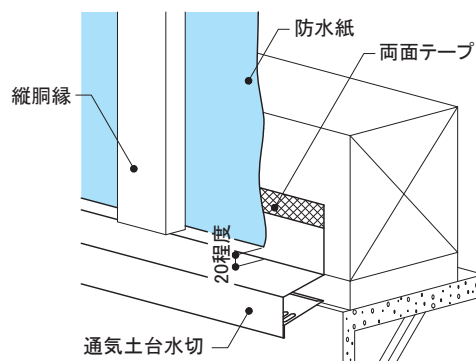
5) 充填型断熱工法の場合の注意点

- 軸組でできる壁厚の間に断熱材(ウール状断熱材)を充填する断熱工法の外壁面に防水紙を張った場合、断熱材の長期にわたる断熱材復元圧力によって図のように防水紙が外部側にふくらんでしまう現象がおこり、通気空間を狭めて外壁通気構法の効果を低減させてしまうおそれがあります。充填型断熱工法の場合には防水紙のふくらみを押さえるなど、通気空間を確実に確保する措置をとってください。



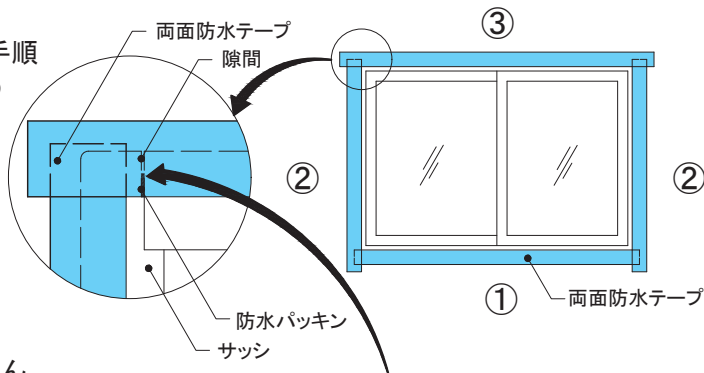
6) 土台部の防水紙の張り方

- 防水紙は、通気土台水切に十分かぶせて施工します。
 - 風による防水紙のバタツキ(音鳴り)を防止する処置として通気土台水切の両面テープの剥離紙を剥がし、防水紙を貼り付けます。(水切立ち上がり下端から20mm程度の位置まで)
- アルミ通気土台水切やベランダ部の水切、下屋根の雨押え板金などにも両面防水テープを用い、同様の処置を行います。なお、横胴縁で防水紙を押さえて留め付ける場合は、両面防水テープは不要です。



7) 開口部まわりの両面防水テープの貼り方と手順

- 開口部まわりの両面防水テープは、右図の順番に従い貼り付けます。
- 両面防水テープの剥離紙は防水紙を張る直前に剥がし、隙間ができないよう圧着します。
- 先張りシートがある場合は、その下に防水紙を十分に差し込んでから留め付けます。その際に、サッシフィンと先張りシートの上に片面防水テープを貼る必要はありません。



※透湿防水シート用スプレーのりで防水紙を施工する場合も、開口部など防水処理が必要な箇所には両面防水テープを使用してください。



注意 サッシ縦枠と横枠のジョイント部は段差があり防水テープ・防水紙の隙間ができやすい箇所です。防水パッキンがありますが、一部分しかありません。隙間ができないよう特に注意して施工してください。

8) 軒天部の防水紙の張り方

- 防水紙は軒天材の位置より上まで張り上げ、ステープルや両面防水テープなどで留め付けます。
- 軒天先施工の場合は、軒天材まで張り上げ、ステープルや両面防水テープなどで留め付けます。

※軒天からの雨水の浸入が懸念される場合は、防水テープで防水紙と軒天材を接着します。

